

木本議員 おはようございます。5番木本です。通告どおり2点質問させていただきます。初めに、「町内での詐欺被害の現状とその防止策について」お伺いします。9月12日の朝刊に県警は、1月から8月の特殊詐欺被害額が6億3千万円だとの記事が載っていましたが、牟岐町では最近の詐欺被害の発生状況についてお聞きしたいと思います。具体的には、どのような詐欺の手口が増えてきているのか、被害の規模や発生場所について教えてください。また、住民に対する啓発活動の現状についてお伺いします。町内で行われている詐欺防止のための啓発活動について、どのような取り組みが実施されているのか、また、その効果についても教えてください。高齢者が詐欺の被害にあうケースが多く見受けられますが、具体的にどのような対策が講じられているのか、また、今後どのように対策を強化する必要があるのかについて、ご所見をお伺いします。次に、2つ目です。「带状疱疹ワクチンの接種費用助成の早期実現について」まず、带状疱疹についての基本的な情報を簡潔に説明します。带状疱疹は主に50歳以降に発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症し、激しい痛みを伴い、約2割の患者が3か月以上痛みが続く带状疱疹神経痛を発症します。この病気の予防にはワクチン接種が有効であり任意接種であり、その費用は全額自己負担となっています。具体的には、生ワクチンの接種費用は、1回約8千円、不活化ワクチンは2回で、約4万円と高額であり、多くの高齢者にとって大きな負担となっています。このような状況を鑑みて、带状疱疹ワクチン接種の一部費用を町が助成することが重要であると考えます。助成により多くの町民が予防接種を受けやすくなり、带状疱疹の発症を防ぐことで、町民の健康が保たれ、医療費の抑制も期待できると思います。牟岐町の高齢化率は56.6%であります。ぜひ、町民の命と健康を守るためにも接種費用助成を早期に進めていただきたいと思います。以上、町のご所見をお聞かせください。以上、2点、ご答弁をお願いします。

喜田議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 おはようございます。木本議員の、「町内での詐欺被害の現状とその防止策について」のご質問にお答えします。まず、詐欺被害発生状況や手口についてですが、徳島県内で発生している令和5年における特殊詐欺の被害状況の認知件数は72件で、前年より34件も増えて過去10年で最悪となっており、徳島県警が公表している牟岐

町内の特殊詐欺被害件数は、3件以内となっています。徳島県の情報によりますと、手口としては「オレオレ詐欺」・「架空料金請求詐欺」・「金融商品詐欺」・「還付金詐欺」などがあり、固定電話、SNS，インターネットに接続したパソコンなどの連絡手段を悪用した被害が多く見られます。本町の詐欺被害把握方法としましては、定住自立圏形成協定に基づき、相談窓口となっている阿南市消費者支援センターから、相談件数や内容についての月例報告として、月初に前々月分の報告を受けています。また、平成31年2月27日に設立した「牟岐町高齢者等見守りネットワーク協議会」に加入している、各種構成団体と情報共有を図っており、今年度も牟岐町社会福祉協議会などから情報提供をいただいています。町民に対する啓発活動や被害防止対策の取り組みとしましては、「牟岐町高齢者等見守りネットワーク協議会」の各種構成団体による、見守り活動や消費者被害に関する普及啓発活動があります。牟岐町消費者協会では、金融機関や牟岐警察署にご協力をいただき、振り込め詐欺防止キャンペーンを実施しています。牟岐町社会福祉協議会では、施設利用者等に対して特殊詐欺についての注意喚起をしていただいています。このように各種団体により被害防止に向けて取り組みをしていただいていることに関して、あらためて感謝を申し上げるしだいです。次に、議員ご指摘の、高齢者を対象とした詐欺被害防止策の強化はというご質問ですが、徳島県内の特殊詐欺被害件数の内、高齢者の被害件数が全体の約6割、被害総額では約7割を占めています。高齢者を狙う特殊詐欺被害を防ぐための対策としては、固定電話の被害防止には不審電話撃退装置の取り付けが有効であるとされていますが、「在宅時でも留守番電話を設定しておく」「自分や自分の家族は大丈夫という思い込みを捨てる」「知らない番号からの電話には出ない」「特殊詐欺・振り込め詐欺の常套句を電話横に貼っておく」「家族の合言葉を決めておく」など、一人一人が十分な注意と確かな選択をすることが、特殊詐欺を防ぐ重要な対策とされますので、「牟岐町高齢者等見守りネットワーク協議会」の各種団体を通して、より一層、高齢者に呼びかけをしていく必要があると認識しています。なお、徳島県内で特殊詐欺が発生した場合には、牟岐警察署より報告があり、防災無線により注意喚起を行っています。相談窓口としては「阿南消費者生活センター」または牟岐警察署が利用できますが、特殊詐欺の被害にあったら、また、見知らぬ者からの電話やSNS等でお金を要求されたら詐欺だと疑い、迷わず誰かに相談をしていただきたいと思います。次に、「带状疱疹ワクチン接種費用助成の早期実現を」の質問にお答え

します。帯状疱疹は、多くの方が幼少期に感染する水痘帯状疱疹ウイルスが、体内の神経節に潜状感染し、加齢、疲労、ストレスなどによる免疫力の低下等が原因で再活性化することにより発症します。発症率は、50歳代から高くなり、70歳代がピークで、80歳までに約3人に1人が発症すると言われています。治療には、「抗ウイルス薬」が有効で、できるだけ早く抗ウイルス薬を投与することで、ウイルスの増殖を抑え、重症化や帯状疱疹後、神経痛等の後遺症予防の確率が高くなると言われています。帯状疱疹の予防を目的として、2種類の異なるワクチンが薬事認証されており、接種後の発症阻止効果の持続性が高い「乾燥組換えワクチン」の接種費用は「生ワクチン」に比べ高額で、接種費用の2分の1助成を想定すると、「生ワクチン」は1回接種で4千円ほどに対し、「乾燥組換えワクチン」は2回接種で2万円から2万2千円となります。現在任意接種に位置づけられており、県内で、帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を行っている自治体がありますが、まだ多くはありません。帯状疱疹ワクチンは、国が定期接種化を検討しているワクチンのひとつで、本年6月の国の審議会で、帯状疱疹ワクチンの有効性、安全性が確認され、費用対効果も良好だったことから、定期接種に定める方針のもとに、専門部会で議論が勧められているところです。本町としましても、こうした国の動向を注視し、帯状疱疹ワクチン接種費用の助成について検討して参ります。以上です。

喜田議長 木本議員。

木本議員 町長、大変丁寧なご答弁をいただきありがとうございます。私も最近知ったことなのですが、友人が1回買うつもりの商品が毎月贈られてくる定期縛りになっていて、受け取り拒否をしているのに最終督促状が来たと相談を受けました。それで以前の一般質問での町長答弁の中で、「相談窓口として、先ほどもおっしゃったように阿南市消費生活センターが利用でき」ということをお聞きしたので、相談しましたところ、町長や消費者センターの係の方のお陰で「支払わずに済みました」とご連絡がありました。すごく良かったなとおっしゃっていました。それで一人で悩まないで相談することが大切だと思いました。町の方でも取り組み、周知をしっかりと行っているというのが良く分かりました。高齢者は孤独感や判断力の低下を悪用されやすいため、家族や地域社会とのサポートが重要です。今後の取り組みとして県や警察、地域コミュニ

ティを活用した見守り体制の強化、詐欺被害防止に向けた町の具体的な目標設定を今後の取り組みに進めていただきたいと思います。次に、2点目の带状疱疹ワクチン接種費用助成についてですが、現在は、上板町・那賀町が実施しており、海陽町は今年7月1日から実施しています。対象者は海陽町に住民票がある50歳以上の方、助成金額は生ワクチン1回4千円補助、不活化ワクチン（2回）は、1回1万円補助、接種場所は海陽町内の5つの医院や診療所です。今年7月から始めて9月初めまでで带状疱疹ワクチンの接種費用助成を受けられたのは80名だったそうです。ぜひとも牟岐町においても実施されることを望みます。進めていただきたいと思います。私の一般質問を終わらせていただきます。